



草津東高等学校図書館
本derful!委員 発行
2025年 2月号
学校ホームページ版

本 derful!講演会の感想より
(2024年12月12日 栗東芸術文化会館にて開催
講師：宮島未奈さん『成瀬は天下を取りに行く』)

1・2年合計

良かった	やや良かった	やや良くなかった	良くなかった	提出人数
442	160	6	0	608
72.7%	26.3%	1.0%	0.0%	100.0%



- ◆ 話がどのようにできたのかが分かったのがおもしろかった。成瀬の明確なモデルがないのはとてもびっくりした。作者の中のイメージや周りの人のエピソードが合わさって成瀬というすばらしいキャラクターが誕生したのだと知れて嬉しかった。
- ◆ 作品を作った経緯や、登場人物、題名の付け方を知れて良かった。特に、登場人物の性格などを読者に伝えるために、その周りの人々の発言などで工夫していることに、すごいと思った。読者はもっと続きを読みたいと思うがその裏では、筆者は、とても苦労していることも知れて良かった。
- ◆ 質問コーナーの時にこちら側から質問するだけでなく、宮島さんの方からグッズのアイデアを聴衆に質問されるという、なかなかない機会に恵まれたことに驚きです。続編もぜひ買って読んでみたいと思いました。
- ◆ いっぱい質問できて裏話とか聞いて良かった。今後の生き方とか参考にしてできる場所があって人生を楽にすごせる考え方を知れたのが良かった。「千里の道も一歩から」という言葉を宮島さんが大事にしているように、私も大事にしたい言葉を見つけたいと思った。 [～学校ホームページにも多数の感想を掲載～]

くさひが図書館の本を
検索してみよう♪

新しくいった本や
貸出状況もわかる
草津東高校蔵書検索サイト

検索サイト URL は配付用「ペえじ」に記載。
在籍生徒はタブレットホーム画面のショートカットから入れます。

書庫の赤本も検索できる!

『地球は食べ物』

ホモサピ:著 460.4冊
KADOKAWA

<あらすじ>

様々な生き物を獲って食べている、ちょっと変わった YouTuber ホモサピさんの体験談などが書かれたエッセイ。

<おすすめポイント>

親に、虫をはじめとした見た目が●●●●な食材で料理をよく作っていたためフライパン使用禁止にされた。などホモサピさんの面白い子供時代のエピソードが個人的にオススメです。また、思わずツッコミたくなるような事が結構書いてあるので、ぜひ読んでみてください。

『せつない動物図鑑』

ブルック・バーカー:著 480.4冊
服部京子:訳 ダイアモンド社

<あらすじ>

「この世界はたくさんのせつなさにあふれている。でも、それって悪くない。」
幼いころから動物好きだった著者は、彼らの「せつない」側面に愛おしさを感じるように。そんな世界観が、短い見出しとかわいいイラストで表現されている。

<おすすめポイント>

弱さを抱えた動物たちの「せつない」魅力をユーモアたっぷりに紹介。短い見出しで構成されているため、本を読むことが苦手な人でも気軽に楽しむことができる。動物の意外な一面に触れ、学びながら心が温まる一冊。

ホンダフル
本derful!委員のおすすめ本 ～1年4組、5組、6組担当～

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

ブレイディみかこ:著
新潮社(新潮文庫)
B376.37

<あらすじ>

「ぼく」はエリート中学校に進めるにも関わらず、荒れた元底辺中学校に通うことを選択する。その中学には多様な生徒が通う。そして日々問題を抱えた転校生がやって来て、様々な出来事にぶち当たりながら乗り越える。

<おすすめポイント>

「ぼく」が多様な生徒と関わり合う中でどう過ごしていくのかがおもしろいです。近年に多いジェンダーなども書かれているところにおすすめです。

『トラペジウム』

高山一実:著 B913.67
KADOKAWA(角川文庫)

<あらすじ>

高校1年生のこの物語の主人公である東ゆうが、アイドルになるために切り拓いていく青春小説。ゆうは、東西南北のかわいい女の子たちを集めて、様々な困難を乗り越えながらもアイドルデビューを目指して進んでいく。

<おすすめポイント>

主人公の予想外な行動力と、夢に向かって本気で努力している姿が素敵で何度も読みたくなります。アイドル好きの方には、特に読んでもらいたい一冊です。
そして、作者が乃木坂46卒業生である高山一実さんなので、アイドルのリアル感も書かれていておすすめです。

ホンダフル
nderful!委員のおすすめ本 ～1年4組、5組、6組担当～

『復讐の泥沼』

くわがきあゆ:著 B913.67
 宝島社(宝島社文庫)

<あらすじ>

崩壊事故に巻き込まれ医者に見捨てられ愛する人を失った、日羽光。彼女はその医者を探し始めることで物語がスタートする。また、医者と一緒にいた薬剤師の航は光を探し始める。目的のためなら暴力や恐喝を厭わない光と、人のぜつぼうの顔を生きがいとする航。復讐に隠された真実とは!?

<おすすめポイント>

思っていた主人公のイメージがどんどん物語を読んでいくごとにくつがえされていくのがとても面白い。2人の視点から物語が進んでいき、ヒリヒリしながらあつという間に読み進められる。

『鎌倉うずまき案内所』

青山美智子:著 B913.67
 宝島社(宝島社文庫)

<あらすじ>

悩みを持った年齢も職業もバラバラな男女6人が、うっかりはぐれた先にある「案内所」で、見た目がそっくりなお爺さん2人とアンモナイトに自分が行くべき道を案内してもらう短編集。

<おすすめポイント>

登場人物の心情の変化や案内所の不思議さに心惹かれる作品です。短編それぞれの時間軸が一緒に、平成の30年をさかのぼっていく物語になっていて読んでいても新鮮です。案内の内容、共通している人物などに注目して読むとさらに面白くなります。

教職員「本読みトーク」Part 163

『竜の巣』

/ 富安 陽子:著 ポプラ社 B913.61



幼い頃からワクワクすることが大好きだった。妹とのごっこ遊びでは日常を演じることに飽きを感じ、忍者修行に打ち込むキャンピングカー持ちの小学生という、今思えばあり得ないような設定の役を演じていた。クリスマスといったイベントはもちろんのこと、別の世界に入り込んでいろいろなワクワクを体験できる読書も好きだった。そんな私が初めて読んだ長めの児童書が、富安陽子さんの『竜の巣』という本だったように思う。この本と出会ったのは小学校3年生くらいだったか、「竜」という世界で一番魅力的な生き物の名前を見て、一気に読み進めたのを覚えている。

この話は、自分が子どもだった頃に竜の巣に迷い込んだことがある、というおじいちゃんの話りで始まる。時折、山のとっぺんに雲がかかっているのを見かけることがあるが、それこそが「竜の巣」で、おじいちゃんは小学生の時に山を歩いていて巣に迷い込んでしまったのだ。迫力を持って描かれた竜、一緒に迷い込んだ蛙たちとの友情、おじいちゃんは無事に帰れるのか、ハラハラドキドキしながらページを読み進めた。

そんな私もいつの間にか大人になり、子どもの頃のようにワクワクすることは徐々に減っていった。クリスマスが来るのを指折り数えることもなければ、キャンピングカーを乗り回すことにも興味はなくなった。ただ、大人になるにつれワクワクが減る分、変わらない日常のありがたさを感じるようになってきた。今日も明日も変わらない日々が続いていく。悪く言えば退屈だが、それこそが平穏というものなのだと思う。今日も明日も変わらず暮らしていける、それは幸せなことなのだ。

それでも窓からふと外を眺めた時、山に雲がかかっているのを見て、「あ、今日は竜の巣が降りてきてるな」なんて思ったりもする。忍者ではなく教師になった私は、今日も変わらない日常を歩いていく。小さなワクワクに胸を弾ませながら。

*この図書館新聞掲載の本で現在、草津東高等学校に所蔵しているものには、請求記号も載せています。

内容/ジャンル	～新しく入った本より～ 書名	著者	請求記号
生き方	読むだけで人間力が高まる88話	「ニューモラル」仕事と生き方研究会 編	159-㊦
歴史・人物	蔦屋重三郎と江戸の文化を彩った天才たち	福田智弘 監修	289.1-ツ
社会・時事	ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方 ワーク・ライフ・バランスと持続可能な社会の発展のために	多賀太 著	367.5-㊦
勉強のコツ	QuizKnock学びのルーツ	QuizKnock	G-379.7-㊦
数学	数学クラスが集まって本気で大喜利してみた	いっくん	410.7-1
生物・医学	面白くて眠れなくなる人体	坂井建雄	B-491.3-㊦
語学	これからはじめるロシア語入門	前田和泉	880-㊦
小説	藍を継ぐ海 【直木賞受賞作】	伊与原新	913.6-1
	ゲーテはすべてを言った 【芥川賞受賞作】	鈴木結生	913.6-㊦
小説 (文庫本)	時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん裏話	燦々SUN	B-913.6-㊦
	Re:ゼロから始める異世界生活 Ex6 剣鬼戦歌	長月達平	B-913.6-㊦
	悪鬼のウイルス 【映画化原作】	二宮敦人	B-913.6-㊦
	探偵はもう、死んでいる。 12	二語十	B-913.6-㊦-12
	口クでなし魔術講師と追想日誌 10	羊太郎	B-913.6-㊦-10
	君に贈る15ページ		
	【*15人の人気作家による短編集...三秋縋 佐野徹夜 松村涼哉 斜線堂有紀 一条岬 綾崎華 村瀬健 こがらし輪音 青海野灰 古宮 九時 遠野海人 天沢夏月 入間人間 時雨沢恵一 高畑京一郎】	三秋縋、佐野徹夜 ほか	B-913.6-ミ
エッセイ	そんなときは書店にどうぞ	瀬尾まいこ	914.6-㊦